

記入要領

令和8年度大学教育再生戦略推進費

「事業」計画調書

種類をリストから必ず選択してください。

[基本情報]

タイプ①:CAプラス

1 大学名 (○が代表申請大学)	※機関番号が入力されると、自動的に大学等名が表示されます。		
2 機関番号	代表申請大学	①科学研究費補助金の申請に使用する5ケタの機関番号を記入。 (https://www-kaken.jsps.go.jp/kaken1/kikanList.do) ②国内大学が複数連携する場合は、代表申請大学を一番左に記入。 次に機関番号が小さい順に連携機関を記入。	
3 第3モード採択プログラムの整理番号			
4 主たる交流先の相手国			
5 事業者 (大学の設置者)	ふりがな (氏)	(所属・職名)	
6 申請者 (大学の学長)	ふりがな (氏)	大学の設置者(法人の長)の氏名及び所属・職名を記入。	
7 事業責任者	ふりがな (氏名)	大学に所属する常勤の役員又は教員で、中心的な役割を果たし、責任を持つ「事業責任者」を選任し、記入。	
8 プログラム名	【和文】 申請するプログラム内容を端的に表す名称を全角40字程度で記入。		
	【英文】 英訳した名称を記入。		
9 取組学部・研究科等名 (必要に応じ[]書きで課程区分を記入。複数の部局で合わせて取組を形成する場合は、全ての部局名を記入。大学全体の場合は全学と記入の上[]書きで全ての部局名を記入。)	学問分野	☐ 人社系 ☐ 理工系 ☐ 農学系 ☐ 医歯薬系 ☐ 看護・医療系 ☐ 全学 ☐ その他	
	実施対象 (学部・大学院)	☐ 学部 ☐ 大学院 ☐ 学部及び大学院	
代表申請大学における本プログラムの取組学部等名を全て記入(左記参照)。			

10. 海外相手大学				それぞれ該当する項目を選択。 ※「取組学部・研究科等名」と齟齬のないこと。
	国名	大学名(日本語)	大学名(英語)	
1				
2				
3				
4		1 大学につき1行、日本語と英語で記入 (部局名で日本語表記が難しい場合は英語でも可)。		
5				
6		※記入順は、「4. 主たる交流先の相手国」と揃える。		
7				
8				
9				
10				

11. 連携してプログラムを実施する機関(国内連携大学等)					
	大学等名	取組学部・研究科等名		大学等名	取組学部・研究科等名
1			4		
2	「取組学部・研究科等名」欄は、学部・研究科等の具体的名称を「9. 取組学部・研究科等名」と同じ要領で記入。				
3			6		

(大学名:※機関番号が入力されると、自動的に大学等名が表示されます。) タイプ①:CAプラス

12 「学校教育法施行規則」第172条の2第1項において「公表するものとする」とされた教育研究活動等の状況について、公表しているHPのURL

- ①「学校教育法施行規則」第172条の2第1項において「公表するものとする」とされた教育研究活動等の状況について、公表しているホームページのURLを記入。公表していない場合は、刊行物の名称等を適宜記入。
- ②国内連携大学等がある場合は、「11. 連携してプログラムを実施する機関(国内連携大学等)」欄に記載した参加する全ての大学等分も記入。
※記入順は、代表申請大学に続き「11. 連携してプログラムを実施する機関(国内連携大学等)」欄で記入したとおりとすること。

(例) ホームページ内に教育研究活動等の状況について取りまとめたページがある場合

- ・●●大学
https://www.....
- ・■■■大学
https://www.....

(例) 第1項の項目や取組学部によって掲載ページが異なる場合

- ・●●大学
- 【大学の教育研究上の目的に関すること】
- (○○学部) https://www.....
- (△△学部) https://www.....
- 【□□□□に関すること】
- (○○学部) https://www.....
- (△△学部) https://www.....
- ・■■■大学

13. 本事業経費

(単位:千円) ※千円未満は切り捨て

事業規模 (総事業費)		事業規模は「補助金申請額」及び「大学負担額」入力	
内訳	補助金申請額		
	大学負担額		

14. 本事業事務総括者部課の連絡先

部課名	採択結果の通知等に使用。 必ず連絡対応可能な担当者を記入。			
責任者	ふりがな (氏名)			
担当者	ふりがな (氏名)	原則、当該機関事務局の担当部課とし、責任者は課長相当職、担当者は係長相当職とする。 e-mail (主) は、係や課などで共有できるものとし、必ず (副) のアドレスも記入 ((主) と異なること) 。		
	電話番号			
	e-mail(主)		e-mail(副)	

(大学名:※機関番号が入力されると、自動的に大学等名が表示されます。) タイプ①:CAプラス

I. 交流プログラムの内容

① 交流プログラムの目的・概要等

【国際交流プログラムの目的及び概要等】※ 1 ページ以内

※【国際交流プログラムの目的及び概要等】、【養成する人材像】について「審査要項」に記載されている以下の観点に留意し明確に記入。

国際交流プログラムの目的及び概要等

- ・ アウトプットだけでなく、アウトカムに関する、具体的で国民にとって分かりやすい目的・目標が設定されているか。
- ・ プログラムの実施により大学の国際化がどのように変化・成長するのかをできるだけ具体的に記載されているか。
- ・ 各大学の中長期的なビジョンのもと、我が国と連携相手国の大学間において、日本人学生の海外留学及び外国人学生の受入の双方向の交流を促進するプログラムとなっているか。

養成する人材像

- ・ 養成する人材像について、大学の強み・特色を活かし、各取組の内容との整合性にも留意しつつ具体的かつ明確に設定されているか。

【養成する人材像】

代表申請大学名、国内連携大学名、タイプ：①CA プラスまたはタイプ：②CA を入力すること。

代表申請大学名の名前には先頭に○をつけること。

(大学名：ここに入力) (タイプ：ここに入力)

【プログラムの概念図】 ※ 1 ページ以内

- ①プログラムの全体像が分かるように、図表を用いて記入すること。
- ②数値等を示しながら、プログラムの内容が具体的に把握できるように留意すること。
- ③カラーでの作成可。

【国内大学等の連携図】 ※1 ページ以内

- ① 国内大学が複数連携する場合は、連携内容や役割分担が分かる図を作成。
- ② 申請大学単独での取組の場合は、その理由を記入。
- ③ カラーでの作成可。

【プログラムの計画内容】 ※1 ページ以内

※【プログラムの計画内容】について「審査要項」に記載されている以下の観点に留意し明確に記入。

プログラムの計画内容

- ・ 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組が設定されているか。
- ・ プログラムを実施する学部等のみならず、全学的な協力体制の下でプログラムが構築されているか。
- ・ 資金計画が、事業期間(令和8年度末まで)に照らして経費や規模の面で合理的であるか。
- ・ 原則、下記のCAプラス及びCAの基本的枠組みを踏まえたプログラムとなっているか。

※CAプラス及びCAの基本的枠組み

- ①参加国及び大学(※1) : CAプラス…日本、中国及び韓国その他、ASEANの大学。
CA…日本、中国及び韓国の大学
- ②レベ ル : 学部レベル、大学院レベル
- ③交流プログラムの概要 : 分野は問わない。大学院レベルではジョイント・ディグリーやダブル・ディグリーを実施する交流が推奨される。
- ④交 流 期 間 : 3か月以上の交流が推奨される。
- ⑤学 生 規 模(※1) : 相互利益の原則に基づき、参加国間で学生の派遣数と受入数のバランスをとり学生交流を行う。
- ⑥学 生 支 援(※2) : 交流に関しては授業料の相互免除を原則行う他、以下の支援を行うことが推奨される。なお、奨学金については、1プログラムにつき年間10人の参加学生に対し、支援を行うことが推奨される。
(受入国の負担) 滞在費(宿舍費)
(派遣国の負担) 奨学金、学生の渡航費
- ⑦質 保 証 : 日中韓三か国の質保証機関による質保証に関する取組を実施する。「日中韓の質の保証を伴った大学間交流に関するガイドライン(※3)」を参照する。

(※1) 本事業においては、中国の大学の参加は任意とするとともに、中国の大学との学生交流の派遣数と受入数のバランスについても任意とする。

(※2) CAプラスにおけるASEANの大学との学生支援については、各大学の財政状況を考慮し、コンソーシアム独自の覚書等の締結により、上記相互負担の例外が認められる。

(※3) 日中韓の質の保証を伴った大学間交流に関するガイドライン

https://warp.ndl.go.jp/web/20241103051005/www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shitu/1303468.htm

(大学名: ここに入力) (タイプ: ここに入力)

②-1 これまでの第3モードにおける成果及び課題

【主な成果】※1 ページ以内

※第3モードにおける【主な成果】、【今後の検討課題】について、わかりやすく具体的に示すこと。

【今後の検討課題】 ※ 1 ページ以内

②-2 これまでの第3モードにおける成果及び課題を踏まえ、令和8年度において発展・改善した主な取組内容 ※4ページ以内

※「これまでの第3モードにおける成果及び課題を踏まえ、令和8年度において発展・改善した主な取組内容」について上述した第3モードにおける成果及び課題を踏まえ、令和8年度における交流プログラムを計画するにあたり、発展・改善した主な取組内容のうち、特に、「審査要項」に記載されている以下に掲げる観点について、具体的に記入すること。

- ・ 質保証を伴う国際交流プログラムの構築・実施にあたり、質及び量の両面において、コンソーシアム内の交流の一層の活性化を図るための取組。
- ・ 大学全体の国際通用性の一層の向上を図るため、特定の部局等や教職員にとどまらず、全学的な協力・責任の下でプログラムを実施する取組。
- ・ 第4モードの取組につながるような継続性のある取組。
- ・ シンポジウムの開催や他大学へのプログラムの共有、対象国・地域の他の大学との新たな連携など、プログラムを横展開・波及させるための取組。

(大学名: ここに入力) (タイプ: ここに入力)

(大学名: ここに入力) (タイプ: ここに入力)

Ⅱ. 推奨される取組

JV-Campus などのオンラインプラットフォームの活用 ※1 ページ以内

※交流プログラムの実施にあたり、以下の取組のように、JV-Campus などのオンラインプラットフォームを積極的に活用することを推奨します。交流プログラムの実施にあたり、JV-Campus 等の活用を計画している場合は、具体的に記入すること。

- ・プログラムの構築・実施にあたり、JV-Campus 等に教育コンテンツを提供する、もしくは他大学から JV-Campus 等に提供された教育コンテンツを有効活用する。
- ・学修歴証明のデジタル化や、マイクロクレデンシャルなどの発行・活用にあたり JV-Campus を積極的に活用する。
- ・プログラムの横展開・波及に際して、JV-Campus 等に提供した教育コンテンツの作成・公表等を積極的に活用する。

③ 必須指標

i プログラムにおける日本人学生の派遣数 (単位: 人)

ii プログラムにおける外国人学生の受入数

- プログラムにおける日本人学生の派遣数（派遣国、実渡航・オンライン・ハイブリッド等）について適切な目標が設定されているか。
- プログラムにおける外国人学生の受入数（出身国、実渡航・オンライン・ハイブリッド等）について適切な目標が設定されているか。

1. プログラム全体の派遣・受入交流学生数

赤枠内に大学名を記入すること。

派遣及び受入合計人数	代表申請大学		国内連携大学		合計	
	【大学名: 】		【大学名: 】			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	自動計算	
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生 (以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0

大学名は自動挿入。

国内連携大学が複数ある場合は行を挿入し追記。

2. 交流相手国・地域別 内訳

	代表申請大学		国内連携大学		合計	
	【大学名: 】		【大学名: 】			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
財政支援対象となる交流学生数	0	0	0	0	0	0
交流相手国 【国名: 】	実渡航				0	0
	オンライン				0	0
	ハイブリッド				0	0
					0	0
交流相手国 【国名: 】	実渡航				0	0
	オンライン				0	0
	ハイブリッド				0	0
					0	0
交流相手国 【国名: 】	実渡航				0	0
	オンライン				0	0
	ハイブリッド				0	0
					0	0
自己負担または大学負担等による交流学生数	0	0	0	0	0	0
交流相手国 【国名: 】	実渡航				0	0
	オンライン					
	ハイブリッド					

「交流相手国」による各内訳人数を、基本情報「10. 海外相手大学」に記入した国名に基づき記入すること。

例: 中韓両国の大学で実施する交流プログラムに参加する場合は、「中国および韓国」とし、「1(人)」をカウント。「中国」及び「韓国」欄には計上しない。

代表申請大学名、国内連携大学名、タイプ: ①CAプラスまたはタイプ: ②CAを入力すること。

代表申請大学名の名前には先頭に○をつけること。

(大学名:) (タイプ:)

③ 必須指標の設定

iii プログラムにおいて設定した外国語力基準（外国語科目の成績や、外部検定試験のスコアなど）を達成する日本人学生数

○ 本プログラム計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアする学生数に関する達成目標

1. 本プログラム計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアする学生数に関する達成目標

単位：人（延べ人数）

外国語力基準		達成目標	
		代表申請大学	国内連携大学
【参考】本プログラム計画において派遣する日本人学生合计数		0	0

- ① 1. の表に、本プログラム計画において定める「外国語力基準」及び同基準をクリアする学生数に関する達成目標を記入。
- ② 例えば「TOEFL CBTのスコア200以上又はTOEICのスコア700以上」等具体的に記入。
- ③ 設定する外国語力基準の数は任意。複数設ける場合は基準ごとに記入（記入欄は適宜追加可）。

2. 外国語力基準を定めた考え方

1. で記入した「外国語力基準」を定めた考え方を記入。
複数設けている場合は、それぞれ明示すること。

シート「指標 i、ii」から自動挿入

(大学名： 0) (タイプ： 0)

③ 必須指標の設定

iv プログラムにおける外国語による授業で日本人学生が取得した単位数

○ プログラムにおける外国語による授業で日本人学生が取得した単位数（一人あたり平均）について

シート「指標 i、ii」
から自動挿入

計画している派遣者のうち、外国語による授業で 取得した単位数を記入。 (相手大学名)		代表申請大学	国内連携大学	合計
		【大学名： 】	【大学名： 】	
	認定単位数			0
				0
				0
年度別認定単位数合計		0	0	0

赤枠内を記入。
相手大学数、国内連携大学数に応じて適宜追加
可能。

③ 必須指標の設定

v プログラムにおける留学により日本人学生が取得した単位数について

○ プログラムにおける留学により日本人学生が取得した単位数（一人あたり平均）について適切な目標が設定されている

シート「指標 i、ii」
から自動挿入

計画している派遣者のうち、外国語による授業で 取得した単位数を記入。 (相手大学名)		代表申請大学	国内連携大学	合計
		【大学名： 】	【大学名： 】	
	認定単位数			0
				0
				0
年度別認定	シート「指標 i、ii」から自動挿入		0	0

(大学名： 0) (タイプ： 0)

③ 必須指標の設定

- vi 大学全体における実渡航による日本人学生の派遣数
vii 大学全体における実渡航による外国人学生の受入数

- 大学全体における実渡航による日本人学生の派遣数について適切な目標が設定されているか
○ 大学全体における実渡航による外国人学生の派遣数について適切な目標が設定されているか

シート「指標 i、ii」
から自動挿入

	代表申請大学	国内連携大学	合計
	【大学名： 】	【大学名： 】	
実渡航による日本人学生の派遣数			0
実渡航による外国人学生の受入数			0
合計人数	0	0	0

シート「指標 i、ii」
から自動挿入

(大学名： 0) (タイプ： 0)

補助期間における各経費の明細

補助金申請ができる経費は、当該事業の遂行に必要な経費であり、本プログラムの目的である大学の世界展開力強化のための使途に限定されます。（令和8年度大学の世界展開力強化事業公募要領参照。）

(単位：千円)

経 費 区 分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (総事業費) (①+②)	備考
〔物品費〕				
①設備備品費				
・				
・				
・				
②消耗品費				
・				
・				
・				
〔人件費・謝金〕				
①人件費				
・				
・				
・				
②謝金				
・				
・				
・				
〔旅費〕				
・				
・				
・				
・				
・				
〔その他〕				
①外注費				
・				
・				
・				
②印刷製本費				
・				
・				
・				
③会議費				
・				
・				
・				
④通信運搬費				
・				
・				
・				
⑤光熱水料				
・				
・				
・				
⑥その他（諸経費）				
・				
・				
・				
合計				

(大学名:) (タイプ:)